

# 事業の概要

興味・関心を持たせる授業の展開に加え、個々の学生の状況に合わせた学修支援を開発し初年次教育を改革する。これらは本学科が課題及びその原因として挙げている「学業不振による退学」に対する取り組みとなる。  
DX導入とその活用は、「学びの質の向上」、「学修者本位の教育の実現」に資するための取り組みとなり、学修成果の可視化を実現するものとなる。

## 事業実績の概要

令和5年度から令和7年度まで

VRを活用した授業の展開

解剖学・解剖学実習

理学療法研究セミナー

常葉高校との連携講座

VRを多くの場面で使用しながらどのような使用方法、効果検証が良いか検討

令和7年度から令和8年度

VRの効果を検証する研究計画の作成・予備実験

研究の特長

効果検証項目

個々の学生に合わせた学修支援



令和8年度カリキュラムでは、解剖学を2クラス制としたことで、少人数教育が可能となり、VRの活用度Up



VR学修とテキスト学修を体験



解剖学の基礎知識を問う



空間構造の視覚化を問う



空間認知能力を問う



理学療法臨床応用能力を問う

VRの効果検証へ